

## 1 等級順位の決定方法

### (1) 等級及び順位

東京都では入札参加資格申請者に対し、申請営業種目ごとに履行能力に応じた等級と順位を付与し、競争入札参加有資格者名簿に登載しています。

ただし、「営業種目201ライフライン」については等級の付与は行っていません。

等級順位は営業種目ごとに付与しています。複数の営業種目に申請した場合は、申請した営業種目ごとに等級順位が付きます。

申請項目を【客観的審査事項】と【主観的審査事項】に振り分け、以下のように採点します。

### 数値の求め方

#### 【客観的審査事項】

〔採点項目〕

- ①年間総売上高、②自己資本額、③従業員数、④流動比率、  
⑤営業年数、⑥障害者雇用の割合（実雇用率）

ISO等の認証を取得している者は「①年間総売上高」に次の表に示す割増率で求めた額を加算した上で点数を決定する。

ISO9001、環境マネジメントシステム（ISO14001等）の両方を取得している者は、それぞれ加算することができる。

対象規格	割増率	
	新規取得	継続登録
ISO9001	3%	5%
環境マネジメントシステム (ISO14001等)	3%	5%

#### 【主観的審査事項】

〔採点項目〕

営業種目売上高

7つの営業種目グループごとに設定された「主観数値（営業種目別売上高）」に申請した営業種目売上高を当てはめたもの。

※ 「主観数値（営業種目別売上高）」は発注標準金額の10倍に相当します。

### 等級の決定

営業種目ごと、発注標準金額に応じた等級A、B及びCを決定します。

それぞれの審査事項に基づき「客観数値」と「主観数値」を算出し、その数値を基に「客観的審査事項による等級」と「主観的審査事項による等級」を決定し、**いずれか下位の等級を当該申請者の申請営業種目における等級**とします。

申請営業種目の審査対象事業年度の売上高がない場合は、無格付(X)となります。

### 順位の決定

同一等級内で、営業種目別に、売上高の大きい順に順位を付します。

営業種目別売上高が等しい場合は自己資本額、従業員数、流動比率、営業年数及び障害者雇用の割合（実雇用率）の順に比較し、数値の大きい方から順位を付します。

## 2 計算方法

### (1) 客観的審査事項による等級の計算

【表の見方】

次の表に審査対象事業年度の各数値を当てはめて計算します。

「年間総売上高」や「自己資本額」等の欄は、上段が「未満」で下段が「以上」です。

年間 総売上高 (円)	～ 1千億	1千億 ～ 300億	300億 ～ 100億	100億 ～ 50億	50億 ～ 30億	30億 ～ 20億	20億 ～ 10億	10億 ～ 7億	物品 (イ-1)
点数	60	57	54	51	48	45	42	39	点
委託	55	52	49	46	43	40	37	34	
	7億 ～ 5億	5億 ～ 3億	3億 ～ 2億	2億 ～ 1.5億	1.5億 ～ 1億	1億 ～ 5千万	5千万 ～ 1千万	1千万 ～ 700万	委託 (イ-2)
点数	36	33	30	27	24	21	18	15	点
	31	28	25	22	19	16	13	10	

※ISO等の認証を取得している者は、割増後の年間総売上額により点数を決定します。

自己 資本額 (円)	～ 30億	30億 ～ 6億	6億 ～ 2億	2億 ～ 1億	1億 ～ 5千万	5千万 ～ 3千万	3千万 ～ 1,500万	1,500万 ～ 3百万	3百万 ～ 100万	100万 ～ 10万	(ロ)
点数	10	9	8	7	6	5	4	3	2	0	点

従業員数 (人)	～ 300	300 ～ 50	50 ～ 20	20 ～ 5	5 ～ 1	(ハ)
点数	5	4	3	2	1	点

流動比率 (%)	～ 140	140 ～ 130	130 ～ 120	120 ～ 110	110 ～ 100	100 ～ 90	90 ～ 80	80 ～ 60	60 ～ 50	(ニ)
点数	15	14	13	12	10	8	6	4	2	点

※流動比率＝流動資産÷流動負債×100

※流動資産が「0」のときは、0点になり、流動負債が「0」のときは、15点になります。

営業年数 (年)	～ 50	50 ～ 40	40 ～ 30	30 ～ 25	25 ～ 20	20 ～ 15	15 ～ 10	10 ～ 5	5 ～ 1	1 ～ 0	(ホ)
点数	10	9	8	7	6	5	4	3	2	0	点

※営業年数は、設立（登記）年月日から申請日までの満年数。

障害者雇用率 (%)	～ 2.3	2.3 ～ 2.2	2.2 ～ 2.1	2.1 ～ 2.0	2.0 ～ 1.9	1.9 ～ 1.8	1.8 ～ 1.7	1.7 ～ 1.6	1.6 ～ 1.5	1.5 ～ 1.4	1.4 ～ 1.3	(ヘ)
点数	5	3	0	※障害者雇用率＝ $\frac{\text{算定障害者数}}{\text{算定労働者数}} \times 100$ (P. 21 参照)								点

※「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく障害者雇用率制度

◆物品（営業種目 001～099）：(イ-1) + (ロ) + (ニ) + (ホ) + (ヘ)

◆委託（営業種目 101～190）：(イ-2) + (ロ) + (ハ) + (ニ) + (ホ) + (ヘ)

合計（客観数値）

点

※ 点数を右表に当てはめて  
得た等級が客観的審査事項  
による等級です。

70点以上	A
40点以上70点未満	B
40点未満	C

### (2) 主観的審査事項による等級の計算

審査対象事業年度における申請営業種目の売上高を、次表（格付基準及び発注標準金額表）の「主観数値」欄に当てはめて得た等級が主観的審査事項による等級です。

[例] 申請営業種目：001 文房具事務用品・図書の売上高が5,000万円である場合、主観的審査事項による等級は、主観数値が3,000万円以上1億円未満に該当するので、「B」となります。

### (3) 等級の決定

「(1)客観的審査事項による等級」と「(2)主観的審査事項による等級」のうち、**下位となる等級**が申請営業種目の等級です。

[例] 客観的審査事項が「A」、主観的審査事項が「B」であれば、等級は「B」となります。

### 3 格付基準及び発注標準金額表

グループ	等級	客観数値	主観数値（営業 種目別売上高）	発注標準金額 （税込）	営業種目
1	A	70点以上	1億円以上	1000万円以上	<b>【事務用品、什器関係】</b> 001 文房具事務用品・図書 003 学校教材・運動用品・楽器 004 什器・家具 011 燃料・ガス・油脂
	B	70点未満 ～ 40点以上	1億円未満 ～ 3000万円以上	1000万円未満 ～ 300万円以上	
	C	40点未満	3000万円未満	300万円未満	
2	A	70点以上	2億円以上	2000万円以上	<b>【繊維、雑品関係】</b> 005 荒物雑貨 026 警察・消防・防災用品 006 工業用ゴム製品 027 造園資材 007 繊維・ゴム・皮革製品 028 百貨店・総合商社 008 室内装飾品等 090 その他の物品 020 医薬品・診療材料・介護用品 099 不用品買受 024 標識・看板等
	B	70点未満 ～ 40点以上	2億円未満 ～ 3000万円以上	2000万円未満 ～ 300万円以上	
	C	40点未満	3000万円未満	300万円未満	
3	A	70点以上	3億円以上	3000万円以上	<b>【機械、資材関係】</b> 002 事務機器・情報処理用機器 017 通信用機械器具類 009 家電・カメラ・厨房機器等 018 農林水産業・建設用機械器具 010 自動車・自転車 019 医療用機械器具 012 電車両・軌道用品 021 コンクリート・セメント 013 船舶・航空機 022 鉄鋼・非鉄・鋳鉄類 014 理化学機械器具 023 電線・絶縁材料 015 工作用機械器具 025 工業薬品・防疫剤 016 産業用機械器具類
	B	70点未満 ～ 40点以上	3億円未満 ～ 3000万円以上	3000万円未満 ～ 300万円以上	
	C	40点未満	3000万円未満	300万円未満	
4	A	70点以上	2億円以上	2000万円以上	<b>【印刷関係】</b> 101 印刷 102 複製業務
	B	70点未満 ～ 40点以上	2億円未満 ～ 3000万円以上	2000万円未満 ～ 300万円以上	
	C	40点未満	3000万円未満	300万円未満	
5	A	70点以上	3億円以上	3000万円以上	<b>【給食業務、情報処理業務、その他業務関係】</b> 114 運送等請負 127 下水道管路調査業務 115 広告代理 128 クリーニング 116 映像等製作 129 汚泥脱水機ろ布 118 医事業務 130 浄水場・処理場機械運転管理 119 給食関係業務 132 労働者派遣 120 催事関係業務 135 事務支援 121 情報処理業務 190 その他の業務委託等
	B	70点未満 ～ 40点以上	3億円未満 ～ 5000万円以上	3000万円未満 ～ 500万円以上	
	C	40点未満	5000万円未満	500万円未満	
6	A	70点以上	3億円以上	3000万円以上	<b>【清掃、警備、保守管理及び調査業務関係】</b> 105 警備・受付 113 管渠清掃 106 通信施設保守 122 検査業務 107 環境関係測定機器保守 123 都市計画・交通等計画業務 108 ボイラー清掃 124 土木・水系関係調査業務 109 浄化槽・貯水槽清掃 125 市場・補償鑑定関係調査業務 110 道路・公園等管理 126 環境関係業務 111 害虫等駆除 133 樹木・緑地等保護 112 廃棄物処理 134 企画立案支援
	B	70点未満 ～ 40点以上	3億円未満 ～ 1億円以上	3000万円未満 ～ 1000万円以上	
	C	40点未満	1億円未満	1000万円未満	
7	A	70点以上	5億円以上	5000万円以上	<b>【建物清掃、賃貸業務関係】</b> 103 建物清掃 104 電気・暖冷房等設備保守 117 航空写真・図面製作 131 賃貸業務
	B	70点未満 ～ 40点以上	5億円未満 ～ 1億円以上	5000万円未満 ～ 1000万円以上	
	C	40点未満	1億円未満	1000万円未満	